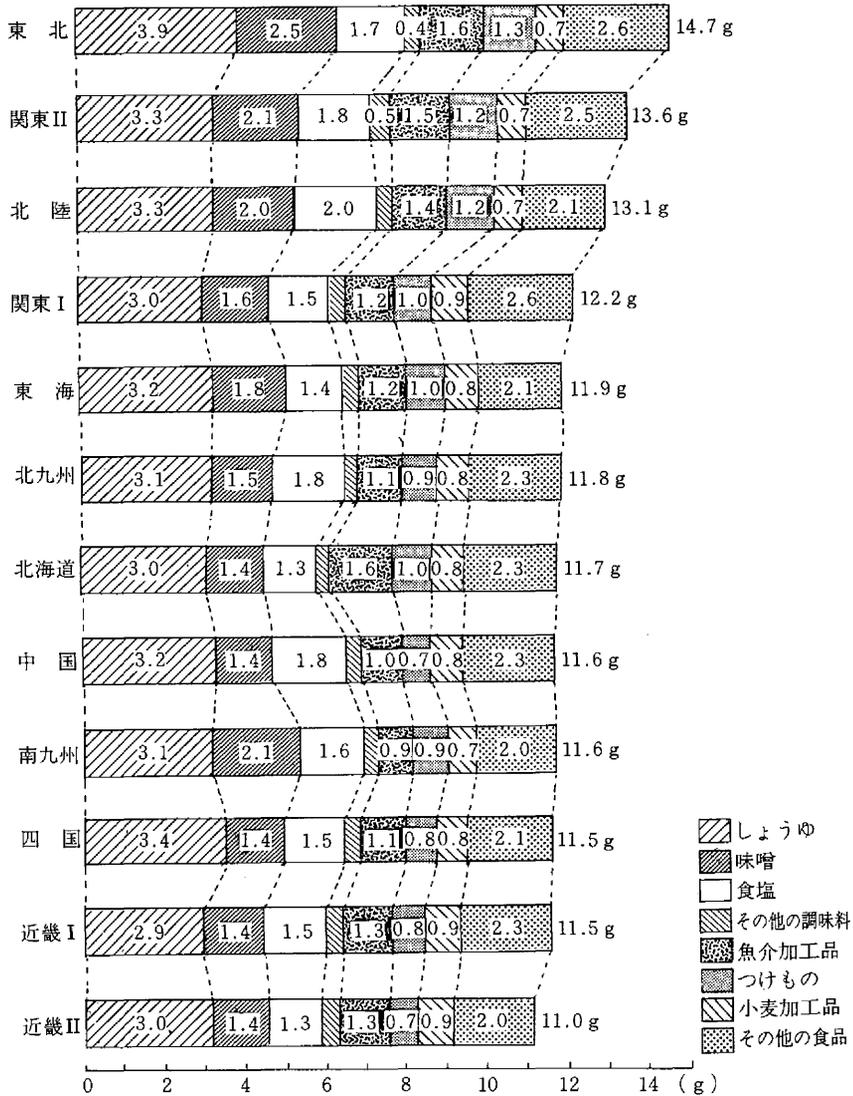


図22 食塩の食品群別摂取量(地域ブロック別)



4. 身体 の 状 況

— 肥満者は男性で7人に1人、女性で5人に1人 —

皮下脂肪厚(上腕背部+肩甲骨下部)からみた肥満者(男40mm以上、女50mm以上)とるいそう者(男10mm未満、女20mm未満)の割合を年齢階級別にみると図23、24のとおり、15~19歳、20歳代の若い女性の肥満者は8%前後と少ないが、30歳代以後はかなり肥満者が増え、50歳代においては25.4%と4人に1人が肥満者と、かなり年代間に差があることがわかる。その点男性においては、女性ほど年代間で肥満者の割合に差がなく、るいそう者も同様に年代間にあまり差がみられない。

次に、肥満者の割合の年次推移をみると図25のとおり、男女とも明確な増減の傾向は認められず、

図23 年齢階級別肥満とるいそうの割合(男)

(昭和63年)(%)

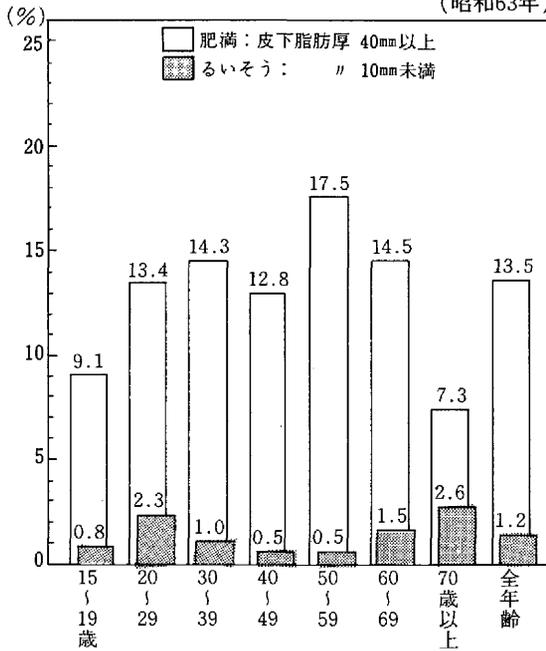


図24 年齢階級別肥満とるいそうの割合(女)

(昭和63年)(%)

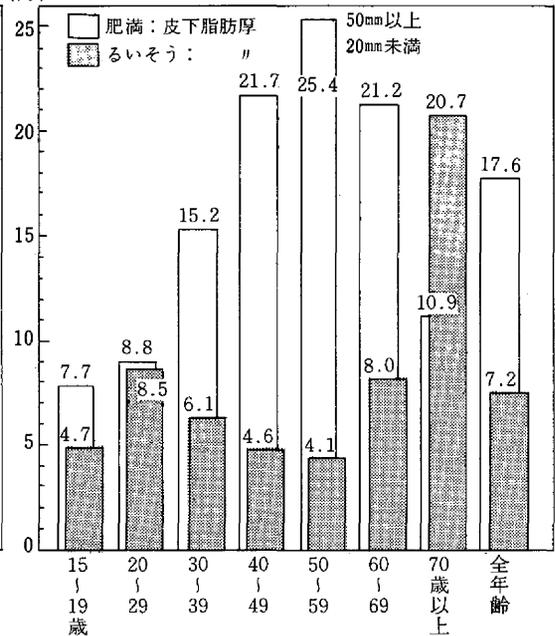
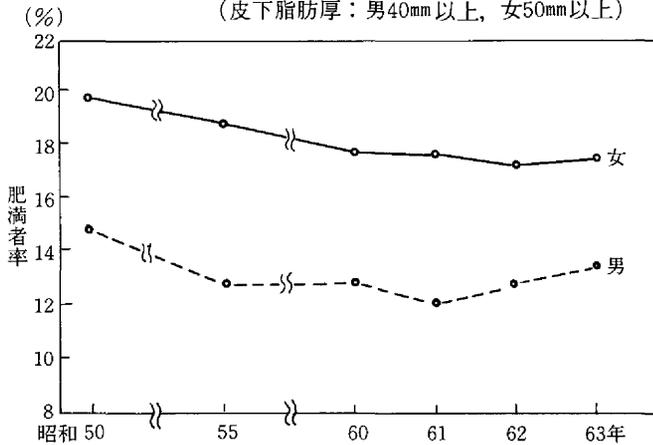


図25 肥満者の年次推移

(皮下脂肪厚：男40mm以上，女50mm以上)



ほぼ横ばいであるが、国民の体型の変化を比体重(体重/身長)を用いてみた場合、16歳以上の年齢階級別では図26、27のとおり、男性ではすべての年齢において指数が漸増傾向にあり、身長の伸びに対して体重の伸びが大きくなっていることがわかる。それに対し、女性では横ばい傾向である。また、15歳以下の者についても同様な変化をみると図28、29のとおり、男性では7～9歳、10～12歳において漸増傾向があり、女性では10～12歳、13～15歳において漸増傾向がみられる。

図26 比体重の年次推移(男)

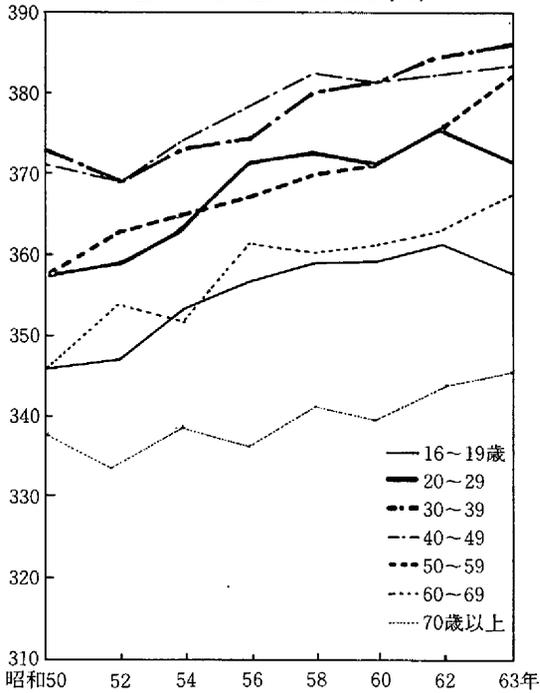


図27 比体重の年次推移(女)

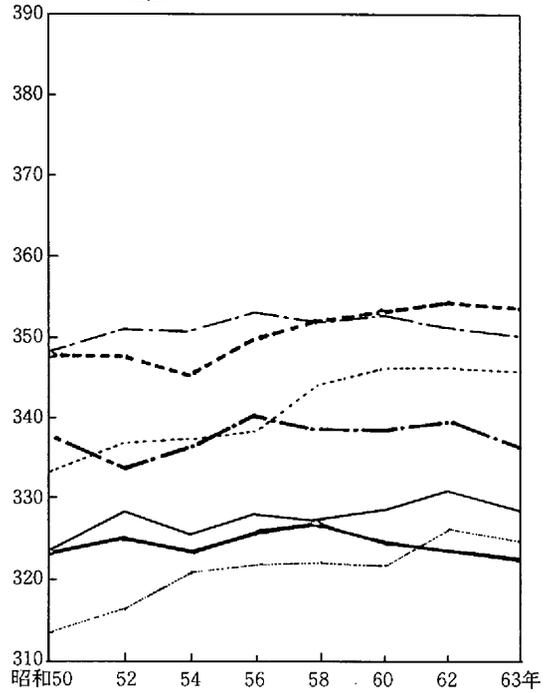


図28 比体重の年次推移(男)

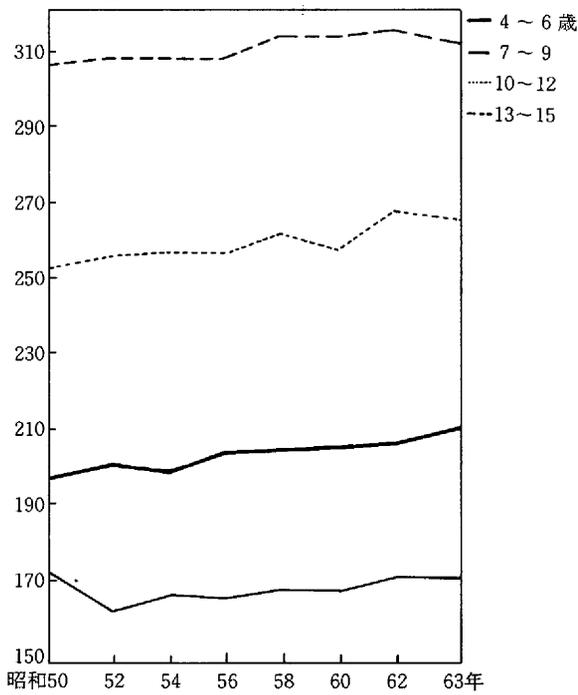


図29 比体重の年次推移(女)

